

平成 29 年 9 月 1 日

瀬戸内市議会議員

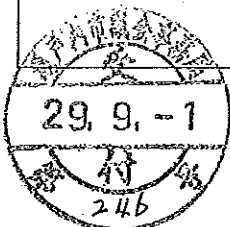
原野 健一 様

瀬戸内市議会議員 小野田 光

### 政務活動費視察等報告書

政務活動費を使用して、次のとおり調査研究活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	平成 29 年 8 月 28 日 ～ 平成 29 年 8 月 29 日
訪問先	群馬県富岡市、農水省、内閣府
調査事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・富岡市における特産品を活かした「まちづくり」について</li><li>・特産品開発に係る農水省の方針と補助金等について</li><li>・子育て特区の動向、国の子育て施策の方針と補助金等について</li></ul>
調査概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・先進地である富岡市は、どのように特産品を活かした「まちづくり」を行っているか、また、どのような補助金等を活用したかなどについて富岡市職員等に対し調査・研究をおこなった。</li><li>・農水省において、特産品開発についての国の方針及び補助金等について、調査を行った。</li><li>・内閣府において、子育て特区の動向、国の子育て施策の方針、補助金等について調査を行った。</li></ul>
所感	<p>(特産品について)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・富岡市は世界遺産に登録された富岡製糸場に代表されるように、絹とともに発展してきた歴史がある。その歴史、伝統のある「桑」を使った特産品を、市（行政）だけでなく、市民等の連携により開発し、人づくりと、「まちづくり」に寄与している姿を垣間見た。</li></ul> <p>本市でも、行政だけではなく、市民、大学、金融、マスコミなどの各所と協働・連携し本市ならではの逸品の開発をおこなうことにより、特産品開発とそれによる産業振興を行いつつ、特産品開発をつうじて人材育成をおこなうことにより「まちづくり」を行う必要</p>



性を感じた。

(農水省)

・農水省は、特産品開発などにより農業振興を行おうとしているが、すぐに本市が補助等を活用して行くためには、本市単独では困難であり、商工会、金融等との連携も必要であると感じた。

(内閣府)

・国は、子育てについて重視しており、各種施策を行っている。国家戦略特区としても他自治体が様々な知恵を出しているようである。即効性は難しいものの、本市も他自治体や国の動向を踏まえつつ、検討・対応していくことが必要であると感じた。